

群馬バロックオーケストラ 第7回演奏会

GUNMA BAROQUE ORCHESTRA

vol.7

ハッヘルベル
カノンとジグ 二長調
J. PACHELBEL: Canon and Gigue in D major

J.S.バッハ
カンタータ「目を覚まして祈れ! 祈りて目を覚ましおれ!」ハ長調 BWV70
J.S. BACH: Cantata in C major, BWV 70 "Wachet! betet! betet! wachet!"

C.P.E.バッハ
弦楽のためのシンフォニア第6番 五長調 Wq.182-6
C.P.E. BACH: Sinfonia no.6 for Strings in E major, Wq.182/6

リュリ
歌劇「ファエトン」よりスペシャル・セレクション
J.-B. LULLY: "Phaeton" Special Selection

2025
3.2 SUN

14:00 開演 13:30 開場

玉村町文化センターにしきのホール (大ホール)

全席指定 一般 | ¥3,000 / 高校生以下 | ¥1,000

※未就学児入場不可

主催: 群馬バロックオーケストラ演奏会実行委員会、(公財) 玉村町文化振興財団、後援: (公財) 群馬交響楽団



指揮
中田 延亮
Nobuaki NAKATA



ソプラノ
星川 美保子
Mihoko HOSHIKAWA



アルト
谷地 欽 晶子
Shoko YACHIUNE



テノール
大島 博
Hiroshi OSHIMA



バス
菅谷 公博
Kimihiro SUGAYA

管弦楽 = 群馬バロックオーケストラ Orchestra = Gunma Baroque Orchestra

合唱 = 高崎バロック合唱団 Chorus = Takasaki Baroque Chorus

【チケット発売日】

WEB先行発売: 2025年1月8日(水) 9時~「LivePocket-ticket」

窓口: 1月18日(土) 9時~

電話: 1月18日(土) 13時~

【お問合せ】

(公財) 玉村町文化振興財団 TEL0270-65-0600 (9時~17時 月・祝休)





指揮 中田 延亮

conductor, Nobuaki NAKATA

京都生まれ。筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに入学、コントラバスを専攻する一方で指揮を学び、在学中より活動を始める。その後2005年より本拠を欧州に移しウィーン市音楽院古楽科などで更に学んだ。また巨匠ジャン・フルネに認められ、最晩年の生徒として師事し薫陶を受ける。07年ブルガリアのスタラザゴラ歌劇場でヨーロッパデビュー、またドナウ交響楽団主催の国際指揮者コンクールで第1位を受賞。08年にはブラジルにおける日本人移民100周年を記念して皇太子殿下（現 天皇陛下）ご臨席のもと、リオデジャネイロの伝統ある市立劇場で開催された「日伯交流音楽会」に招聘されベトロプラス交響楽団を指揮した。14年、群馬県で群馬バロックオーケストラを創設、同団とは後期バロックをレパートリーの中心として共に活動を続けている。17年に開催されたBlue Danube オペラ指揮者コンクールで第2位入賞。現代作品の演奏にも積極的に取り組み、アンドリス・ゼニティス（ラトヴィア）、ガブリエル・ペニード（ブラジル）など各国の若い世代の作曲家から絶大な信頼を寄せられている。これまでにラトヴィア国立交響楽団とのエストニアツアー、ホルト・アレグレ交響楽団（ブラジル）、ブラジショ歌劇場（ルーマニア）などの海外オーケストラへの客演や、国内のオーケストラとも数多く共演を続けている。2008-10年スタラザゴラ歌劇場首席客演指揮者。コントラバス奏者としては新日本フィルハーモニー交響楽団とバレンシア歌劇場管弦楽団に在籍した他、オーストリア・スペインの古楽団体、室内アンサンブルの公演にも数多く参加した。



ソプラノ 星川 美保子

soprano, Mihoko HOSHIKAWA

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。2003年よりドイツ・ライプツヒに留学。Christina Wartenberg氏に師事。留学後の2005年3月に行われた二期会公演『魔笛』パミーナ役への抜擢で一躍脚光を浴び、続く10月の二期会研修所創立50周年記念公演『ジュリアス・シーザー』で演じたクレオパトラ役では、確かな歌唱技術と卓越した表現力、艶やかな舞台容姿で聴衆を魅了し絶賛を博した。コンサートに於いては、透明度の高い声質を生かし、殊に宗教曲を得意としており、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」などのソリストを務める。芸大在学中、東京芸大バッハ・カンタータ・クラブに所属し、小林道夫氏のもとで研鑽を積み、バッハのカンタータのソロ及び合唱を数多く演奏している。近年声楽の個人指導、合唱団や高校合唱部のヴォイストレーナーとしても活動している。



アルト 谷地 敬 晶子

alto, Shoko YACHIUNE

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。第16回日仏声楽コンクール第1位。2012年度三菱地所賞受賞。第57回藝大メサイア、第28回 台東区第九、第349回藝大合唱定期ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」のアルトソロ、第54回藝大定期オペラ「ファルスタッフ」クイックリー夫人を務める。これまでに、J.S.バッハ「クリスマスオラトリオ」、「口短調ミサ」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルジャーク、デュルフレ「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第9番」、「ミサ・ソレムニス」、シューベルト「ミサ曲第5番」、「ミサ曲第6番」、メンデルスゾーン「パウロ」「エリヤ」、ドヴォルジャーク「スターバト・マテル」、マーラー「交響曲第3番」、「交響曲第8番」等においてアルトソリストで出演している。岩手大学、盛岡大学短期大学、盛岡看護医療大学校非常勤講師。



テノール 大島 博

tenor, Hiroshi OSHIMA

熊本県生まれ。中央大学卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。同大学院在学中の86年、ミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘブリガーに学ぶ。90-91年D.フィッシャー＝ティエスカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの受難曲における福音史家の演奏には定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、96年から「ドイツ・リートのための楽しみ」と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを行う。2004年からはシューベルトの「冬の旅」演奏会を毎年開催している。さらに合唱指揮者、発声指導者としても幅広く活動する傍らドイツ詩の翻訳も手がけ、近年は楽譜の校訂・編集にも携わっている。立教大学大学院キリスト教学研究科兼任講師。



バス 菅谷 公博

bass, Kimihiro SUGAYA

千葉県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。アカンサス音楽賞・同声会賞受賞。桐朋学園大学音楽学部研究科修了。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院声楽科修了。オペラでは「フィガロの結婚」フィガロ、「ラ・ボエーム」ショナール、「カルメン」ダンカイロ、「天国と地獄」マルス役を、コンサートではバッハ「口短調ミサ曲」「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、ハイデン「天地創造」「四季」、ブラームス「ドイツレクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」等のソリストを務める。声楽を菅谷君夫、牧川修一、多田羅迪夫、大島幾雄、H.M.ブラッハマンに、ドイツリートを白井光子、M.ハドゥラの各氏に師事。もとやわたクール・アンシャンテ、男声合唱団バロンズ、つくも第九を歌う会にて指導に当たる。桐朋学園大学嘱託演奏員。うへのアニマルアンサンブルメンバー。二期会会員

管弦楽 群馬バロックオーケストラ

Gunma Baroque Orchestra

2014年、群馬交響楽団の有志とその仲間たち、指揮者中田延亮によって結成。群馬では演奏される機会の少ないバロック音楽を気軽に楽しんで頂きたいという思いから、年に1度のペースで演奏会を開催している。

合唱 高崎バロック合唱団

Takasaki Baroque Chorus

群馬でバロック音楽を歌いたい!という思いで結成された市民合唱団。指導者にバッハに造詣の深いテノール歌手の大島博先生を迎え、2022年春より活動開始。

玉村町文化センター

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町福島325

【交通アクセス】

- ・JR新町駅より車で10分、
- ・JR本庄・高崎・前橋・藤岡・伊勢崎駅より車で25分
- ・北関東自動車道 前橋南ICより10分、駒形ICより20分
- ・関越自動車道 高崎IC、藤岡ICより20分、高崎玉村スマートインターより5分

